



ASAHI University News Letter

vol.145

May 2023

発行日/隔月1日  
編集・発行/朝日大学 総務部



朝日大学HP

## 学長が「入学許可」を宣言

青空のもと、新年度を迎えた4月1日、本大学穂積キャンパスにおいて、「2023年度朝日大学・朝日大学歯科衛生士専門学校入学式(春季)」が厳粛に挙行されました。



大友克之学長が入学許可を宣言

## 厳粛に入学式を挙行

2023年度入学式(春季)が、4月1日に穂積キャンパス6号館大講義室で挙行されました。

学部、大学院研究科、留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校の入学生約700名は、大友克之学長及び磯崎篤則専門学校長からの「入学許可」を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせました。

大学・専門学校を代表して大友学長は「長かった冬を越えて、大学の桜もまさに皆さんのご入学をお迎えするかのようになり満開となりました」と述べ、入学式のしおりに書かれた『建学の精神』を示しながら「私たちは、答えのない問題に直面すると、しばしば考えることをやめてしまい、思考停止状態に陥ることがあります。朝日大学が掲げる『国際未来社会を切り開く社会性』とは、世界を取り巻く諸問題に対して、冷静な観察力と分析能力を持ち、常に和をもって解決していくことの出来る人間性を言います」と解説。そして「大学は、社会へ旅立つ最後のステージとなります。それぞれの学問領域において、皆さんの成長とご活躍を心より祈念いたします」と激励のメッセージを送りました。

これに対し、入学生代表者の歯学部歯学科水野紀香さ

ん(中京大学附属中京高等学校出身)からは、「建学の精神を遵守し、学業成就に向け努力します」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われました。

### 理事長からの激励、明海大学学長の祝辞

続いて宮田淳理事長から、「これからの学生生活では、資格取得やスポーツ活動に取り組むこと、国家試験合格に向けて勉学に励むなど、文武両道の精神でそれぞれの夢や目標の実現に向け努力してください。朝日大学には、海外研修、インターンシップ、ボランティアなど、みなさんがそれぞれ抱く夢を実現するためのプログラムが用意されています。朝日大学はそのような学生を教職員一同、全力でサポートします」と新入生たちへ激励の言葉(祝辞)が述べられました。また、来賓を代表して姉妹校である明海大学の中野裕学長から祝辞をいただくとともに、在校生代表から入学生へ「先輩からのメッセージ」が贈られました。

式典終了後には、「撮影お助け隊」の看板を掲げた先輩たちが、1号館前や歓迎ゲート周辺で、スマートフォンを預かって新入生たちの晴れ姿を撮影する姿が見られました。



入学生宣誓



入学生から大友克之学長への宣誓謹呈



宮田淳理事長の挨拶



明海大学・中野裕学長の来賓祝辞



先輩からのメッセージ①



先輩からのメッセージ②



吹奏楽部の演奏が華を添える



撮影お助け隊による記念撮影

## 歯科医師国家試験、看護師国家試験など合格発表

2023年3月16日に第116回歯科医師国家試験、3月24日には第112回看護師国家試験及び第109回保健師国家試験並びに第32回歯科衛生士国家試験の合格発表がありました。

学生一人ひとりの努力と、教員による個々の学習状況やレベルに応じたきめ細やかなサポート体制により、高い合格率を達成しました。

今後も、本大学では更なる学修活動の充実と国家試験対策の強化に取り組んでいきます。



### 第116回 歯科医師国家試験

合格率  
(新卒) **86.0%**

全国平均(新卒)77.3%

受験者数 186名(新卒86名、既卒100名)  
合格者数 99名(新卒74名、既卒25名)

### 第32回 歯科衛生士国家試験

合格率 **100%**

全国平均93.0%

受験者数 70名  
合格者数 70名



### 第112回 看護師国家試験

合格率  
(新卒) **100%**

全国平均(新卒)95.5%

受験者数 92名(新卒88名、既卒4名)  
合格者数 89名(新卒88名、既卒1名)

### 第109回 保健師国家試験

合格率  
(新卒) **100%**

全国平均(新卒)96.8%

受験者数 9名(新卒9名、既卒0名)  
合格者数 9名(新卒9名、既卒0名)

## 私立大学等改革総合支援事業に選定される

### タイプ3「地域社会への貢献(地域連携型)」

文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が行う令和4年度「私立大学等改革総合支援事業」において、タイプ3「地域社会への貢献(地域連携型)」に選定(206校が申請し選定は58校、選定率28%)されました。

本大学が推し進める地域への知的財産の還元や、産業界、自治体等との連携による地域の課題解決に向けた取り組みが選定へとつながりました。

本大学は、建学の精神に基づき、より一層大学改革を推進していきます。

## OPEN CAMPUS 2023

学科説明、模擬授業、学食体験、個別相談の他、各日程で様々なプログラムをご用意して、皆様のご参加をお待ちしています。詳細はホームページでご確認ください。

### 全学部

6月18日(日)・9月10日(日) 10:30~14:00

学科説明、模擬授業、キャンパス見学、個別相談など。  
「入試対策講座」も実施予定。

### 歯学部

7月30日(日)・8月20日(日) 10:00~15:00

教育内容・入試説明、実習体験、学食体験など。  
歯学部生の一日を体験。

### 法学部・経営学部・保健医療学部

7月23日(日)・8月6日(日) 10:30~14:30

学科説明、模擬授業、入試・奨学金説明、保健医療学部実習体験、学食体験など。無料送迎バスツアーも運行。



## 名誉教授称号授与

本年3月、退職を迎えられた奥山徹先生(保健医療学部健康スポーツ科学科教授)に、2023年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が授与されました。

本大学に多年勤務し、教育・研究上の功績が高く評価されたものです。



名誉教授 奥山徹先生

## 宇宙活動をめぐる法的課題!!

### FD・SD研修会を開催

2022年12月21日に穂積キャンパス5号館で、外務省欧州局の中村仁威参事官を講師にお迎えし、FD・SD研修会を開催しました。

「最近の宇宙活動をめぐる法的な課題」と題して、宇宙空間の平和利用のための国際協力と法律問題について、国際宇宙ステーション、スペースデブリ低減ガイドラインなどの具体例に基づいて課題と規範形成の見通しを解説いただき、宇宙で起きている諸問題の法的側面について貴重な講話をいただきました。

約130名の受講者は、宇宙における法律の役割について興味深く聴講しました。



中村仁威参事官が宇宙問題を語る

## 北方警察署と連携協力

岐阜県北方警察署と朝日大学は、警察と大学による官学連携により地域社会の安寧とその担い手となる人材の育成に寄与することを目的に、「連携協力に関する協定」を締結しています。

2月3日、連携協定に基づく「第9回連携協議会」が本大学で開催されました。

協議会では、学生の地域社会貢献活動や警察との連携協力に基づく活動実施状況について協議され、その後、2023年度に向けての連携協力事項を確認し、協定書の更新が決定されました。

また、北方警察署からは、若者に焦点を当てた、相談や苦情、犯罪の情勢、交通事故・違反などについて報告があり、今後の学生厚生補導活動に参考としました。

## 男女共同参画をテーマに!!

### 兵庫県芦屋の女性市長が講演

穂積キャンパス6号館で、1月18日に兵庫県芦屋市の伊藤舞市長をお招きして男女共同参画社会の実現に向けた講演会を開催しました。

芦屋市で二人目の女性市長となる伊藤市長は、講演のなかで、1,741の全国市町村で女性首長は2.5%の43名であることを紹介しつつ、「人がつながり、誰もが輝き笑顔あふれる住宅都市を目指す芦屋市では、男女共同参画を目指して子育て世帯や障害者支援に重点を置き、切れ目のない寄り添った支援体制を築いている」と、あらためて、「男女共同参画の大切さ」を語っていただきました。

講演を聴講した本大学の法学部と経営学部の学生、教職員約130名の受講者からは、「活躍されている女性市長から、男女共同参画のお話を聞けて大変良かった」との声が聞かれました。



伊藤芦屋市長が男女共同参画を語る

## 岐阜県弁護士会との連携

本大学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との「第15回定例懇談会」が対面により開催され、成果報告と本年度共同事業計画について協議が行われました。

2022年度成果報告として、ジュニア・ロースクール、法教育作文コンクール等の実施状況が報告され、本年度においても引き続きこれらの事業を継続していくと共に、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力をはかっていくことが確認されました。また、教育課程の改善に資することを目的とし「法学部及び大学院法学研究科カリキュラム・シラバス」に関する意見交換も行われました。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を展開していくことなどを目的に2009年6月に締結されています。



定例懇談会後の記念撮影

## 「医療経営士養成プログラム」最終講義

穂積キャンパス5号館で、2022年度朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」の最終講義が3月30日に行われました。本プログラムは、(株)大垣共立銀行との「産学連携に関する基本協定(2005年3月締結)」に基づき、2018年度から開講している地域連携事業の一つです。

### 「受講証書」が手渡されプログラムが終了

最終講義では原正英氏を講師に迎え、総合演習Iとして「経済財政運営と改革の基本方針からみる医療」と題し、資源投資、DX化、研究開発、設備投資、薬価改定、人材育成強化など様々な切り口からわが国の財政運営と医療政策について解説が行われました。また、講義終了後に引き続き行われた閉講式では、田村副学長から受講生一人ひとりに受講証書が手渡されるとともに「本プログラムでの学習成果をそれぞれの職場で発揮いただき、生涯にわたる学びを継続されることを望みます」と激励の言葉が述べられました。



「閉講式」で記念撮影

## 法教育作文コンクール

「第12回法教育作文コンクール」(主催:朝日大学、岐阜法教育研究会 後援:法務省、岐阜県教育委員会、岐阜県弁護士会、NHK岐阜放送局、岐阜新聞社、岐阜放送、朝日新聞社、中日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社)の表彰式が、穂積キャンパス5号館で3月25日に行われました。

### 「ルール」や「法」を自分なりに考えてみた

同コンクールには県内外の小・中・高校生から117件の応募があり、厳正な審査の結果、8名が表彰されました。裁判員制度などを踏まえて高校生向けの法教育のあり方を論じた作品が最優秀作品に選ばれ、講評では、入賞作品には自分なりの「ルール」や「法」の捉え方が表現されており、家庭や学校での体験や気づきをきっかけに「法」について考え、その必要性や目的、合理性、平等性、公平性について主体的な立場で考察が深められていると評されました。



「法教育作文コンクール」の受賞者

## 歯学部でFD研修会を開催

### 睡眠医療センターとは

本大学歯学部が2022年11月22日に、穂積キャンパス1号館で2022年度第3回FD研修会を開催しました。

今回の研修では、東北大学理事・副学長で大学院歯学研究科教授の佐々木啓一先生を講師にお招きして、「東北大学における睡眠医療センターと歯科との連携-歯学的対応の実際と要点-」と題した講演が行われました。佐々木先生からは「同センターでは、様々な診療科との連携を図り患者様の治療を行っている」との解説をいただきました。

また、本大学歯学部教授(内科学分野)で朝日大学病院睡眠医療センター長の太倉陸美先生からは、同病院の「睡眠医療センターの現状と歯科との連携」と題して、同センターの概要や歯科との連携などについて詳細な説明がありました。研修に参加した教職員約60名は、「睡眠医学」についての学びを深めていました。



佐々木先生が睡眠医療センターの役割を解説

## 中学生簿記初級講座を開設

### 瑞穂市との連携活動

地域社会に貢献することで、本大学では地元の瑞穂市と「包括的連携協定(2013年12月)」を締結しています。この協定に基づく地域社会連携活動の一環として、中学生を対象とした「簿記初級講座」を毎年開講しています。

第7期目となる昨年は、瑞穂市内の中学校に通う4名の生徒が穂積キャンパスで「日商簿記検定試験初級」の合格を目指して簿記を熱心に学びました。半年間の講座を受講した中学生には、修了式(2022年10月29日)で「受講修了証」が同講座の講師を務める経営学部の山田雄治教授から一人ひとりに手渡され、「希望する進路の実現に向けて、講座で学んだ知識と経験を活かして、さらに高い目標を目指し学習に取り組んでください」と激励の言葉がかけられました。



講座講師の山田先生から修了証が手渡される

## 内視鏡検査を気軽に受けよう!

### きめ細やかで、かつ、高度な診療

朝日大学病院(岐阜市橋本町)の消化器内科では、日々の初診患者さん、また、他の医療機関から紹介いただいた患者さん、人間ドックの2次検査の患者さんなどを積極的に診察しています。

いろいろな消化器症状に対して早期の検査受診は、病気の早期発見や低侵襲治療につながる最も安全で、かつ、コストパフォーマンスの高い治療方法と言えます。

女性の内視鏡専門医が複数在籍する当診療科では、初診時でも必要に応じて当日の腹部超音波、CTやMRIの画像診断を行い、可能な限り早期に内視鏡検査や高度な精密検査を行えるように心がけています。

大学病院として複数の指導医のもと、内視鏡専門医が診断から治療まで患者さんの希望に沿いながらきめ細やかで、かつ、高度な診療を目指しています。

気になる症状がありましたら、ぜひ朝日大学病院で内視鏡検査を受けてください。



消化器内科のスタッフ

## タブレット端末を活用した 双方向型授業のあり方を学ぶ

### 先進的な授業のあり方について共に学ぶ

高大連携・接続による「第10回アクティブ・ラーニング研究会」が、穂積キャンパスで2月14日開催され、高校、大学の教職員ら40名が参加しました。

「アクティブ・ラーニング型模擬授業」では、岐阜県立岐阜商業高等学校の石川勝久先生に、「会計ソフトを活用した財務諸表分析～課題発見力・解決能力の育成～」というテーマでモデル授業を行っていただきました。現在、GIGAスクール構想により、岐阜県内の高校では一人一台端末が実現しており、さらなるタブレット端末の効果的な活用方法等を教えていただきました。

また、岐阜県立中津商業高等学校の野村康介先生(2021年度経営学部卒業)からは、「ICTを活用した授業実践」について発表をいただき、その後、「商業科の授業における効果的なICTの活用方法」について、参加者間の意見交換が行われました。

高校と大学の教員が、高大接続を意識しながら先進的な授業のあり方について共に学び合う、よい機会となりました。



アクティブ・ラーニング研究会が開催される

## ヒットメーカーに学ぶ! 商品開発塾

穂積キャンパス6号館で、2022年12月9日に本大学マーケティング研究所と岐阜県商業教育研究会が共催する「ヒットメーカーに学ぶ! 商品開発塾」が、対面とオンラインによるハイブリッド方式で開催され、高等学校教員、企業関係者、経営学部の学生と教員ら約90名が熱心に受講しました。

### 時間と手間を惜しまないこと パートナーを大切に

岐阜県商業教育研究会会長の村山義広岐阜県立岐阜商業高等学校校長と中畑千弘マーケティング研究所長(経営学部教授)の挨拶で始まった開発塾では、(株)ファンベースカンパニー代表取締役社長/CEOの津田匡保氏が「ファンベースという考え方」と題した基調講演で、「ネスカフェ アンバサダーの立ち上げ」を事例にして「長く時間をかけて作ったサービスは長く愛されるので、時間と手間を惜しまないことが大切」と講演をいただきました。



また、IKEUCHI ORGANIC(株)営業部リテールストアマネージャーの益田晴子氏からは、「IKEUCHI ORGANICが大切にしていること」と題した事例講演で、タオルソムリエの立場から「パートナーを大切にし、みんなで同じ未来をみて笑顔でハッピーになれることを目指している」との講演がありました。

## 「新入生研修」を実施

### 歯科医師を目指し共に研修

歯学部では、穂積キャンパスにおいて2日間の研修を行いました。新入生たちは歯科医師を目指す学生の心構えや今後の学修方法などを学び、グループ研修を通じて新しい友達、教員との交流を深めました。

### 大学生としての自覚を認識

また、法学部・経営学部・保健医療学部では、「大学の歴史や大学で学ぶ意義」を学ぶ授業科目「建学の精神と社会生活・リベラルアーツ」のフィールドワークとして徳山ダムや長良川河口堰などをグループに分かれ見学し、岐阜の歴史や地域性を学ぶと共に、新しい友達や教員との交流を深めました。

グループごとに配置された教員たちは、見学や散策を通じて親睦を深めながら、大学生としての自覚をもつことの大切さや自己のキャリア形成のあり方について説明し、新入生たちの大学生活に対する不安を取り除いていました。



長良川河口堰で岐阜の地域性を学ぶ

## 「めぐる」に助成金が贈呈される

### 7年連続で助成金を受ける

本大学法学部学生で組織する自主防犯ボランティア団体「めぐる」は、あいおいニッセイ同和損害保険(株)岐阜支店から7年連続で助成金をいただきました。

1月13日に行われた助成金贈呈式では、同社地域戦略室長の永藤明憲様から「防犯ボランティアの活動は、SDGsに基づいており、地域に求められている大切な活動です。メンバーの皆さんは社会に旅立たれても活動を継続し、より良い社会を築いていってください」との激励の言葉が「めぐる」のメンバーにかけられました。



贈呈式を終えて記念撮影

### 防犯チラシをデザイン

また、「めぐる」のメンバーは、昨年末にニセ電話詐欺や自転車などの盗難被害を防ごうと、岐阜県防犯協会(岐阜市)と協力して、幅広い年代で防犯意識が高まるようにと広報チラシをデザインし、作成しました。チラシは3,000部印刷され、瑞穂市内の高齢者を中心に配布されました。

## 公認会計士試験(短答式)に合格!!

### 2名が短答式試験に合格

「令和5年公認会計士試験短答式試験」に、体育会会計研究部の部員2名がみごと合格しました。今回の試験では、11,401名が受験し、1,182名が合格(合格率10.3%)という結果でした。

本大学では、高等学校と大学の7年間で公認会計士試験を含む高度な会計試験に挑戦し、合格できるよう支援する「会計教育」を2012年度から実施しています。



公認会計士試験  
短答式試験に合格

### 日商簿記検定1級では7名が合格

また、「第162回日商簿記検定1級試験」では、7名の部員が合格しました。今回の試験では、9,828名が受験し、1,027名が合格(合格率10.4%)しました。

高度な会計試験に挑戦する朝日大学では、経営学部の教育に加え、体育会会計研究部での日頃の真摯な取り組みにより、毎年多くの学生が目標を達成しています。



日商簿記検定1級に合格

## 強化指定クラブ決定!!

本大学体育会の8競技団体が「2023年度強化指定クラブ」として(公財)岐阜県スポーツ協会から認定されました。

2005年度から始まった強化指定制度は、県スポーツ協会が行う「国体特別支援事業」の一環で、国民体育大会に向けた選手強化を目指すと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを育成するため、指定選手やクラブチームが競技に専念できる環境整備などを行うことを目的としています。

### 競技力の向上

本大学体育会から以下のクラブが「競技力向上強化指定証」の交付を受けました。今後、競技力向上が望まれます。

朝日大学強化指定クラブ名	対象	朝日大学強化指定クラブ名	対象
自転車競技部	成年男子	相撲部	成年男子
卓球部	成年男子・女子	フェンシング部	成年男子・女子
ホッケー部	成年男子	岐阜朝日クラブ (社会人ホッケーチーム)	成年男子
ハンドボール部	成年男子		
ラグビーフットボール部	成年男子		

### CLOSE UP

## プロの頂点をめざせ

本大学体育会自転車競技部の中島竜誠選手(今春、法学科を卒業:山梨県甲府工業高等学校出身)、森田一郎選手(同じく経営学科を卒業:埼玉県杉戸農業高等学校出身)、栗山和樹選手(2020年度ビジネス企画学科卒業:岐南工業高等学校出身)が、みごと「第125回日本競輪選手養成所入学試験」に合格しました。

コロナ禍で開催された「全日本インカレ」、「国民体育大会」、「全日本学生選手権」、「西日本インカレ」などで活躍し朝日大学の名声を高めた3名は、今後、日本競輪学校養成所でプロ選手としての競技力を身に付け、2024年夏に競輪選手としてデビューする予定です。

同部では、今回の3名のほか、すでに26名がプロの競輪選手として活躍しています。



各種全国大会で活躍

# NEWS

## 栄えある「宮田賞」受賞

2022年度卒業式(穂積キャンパス6号館大講義室)で、「宮田賞」の授与が3月13日に行われました。

本大学の創立者である宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた学生や課外活動に貢献し、本大学の名誉を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者(8名)には「表彰状」と「クリスタルトロフィー」が宮田淳理事長から贈呈されました。受賞者たちの今後の活躍が大いに期待されます。



宮田賞を授与される受賞者と宮田理事長

[宮田賞受賞者]

法学部法学科	足立 渉 丹羽 巧磨 佐野 佑衣
経営学部経営学科	小池 桜 森田 一郎
保健医療学部看護学科	鷺見 玲緒奈
保健医療学部健康スポーツ科学科	高木 良哉
歯学部歯学科	西井 由衣

### 羽ばたけ建学の精神を胸に

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学長式辞では、大友克之学長から朝日大学を旅立つ卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神の延長線上に」が贈られました。

式典終了時には、参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳粛であった会場内が暖かい雰囲気になりました。



## アフガニスタン支援プロジェクト!!

### 映画「ミッドナイト・トラベラー」を上演

「建学の精神」に立脚して国際化を推進し、地域社会と共に平和を希求している本大学では、2022年の年末にアフガニスタンからの避難学生2名を、留学生別科日本語研修課程に受け入れました。

このことから、同国の現状や国外避難の背景などを理解するために、FD・SD研修会を穂積キャンパスで1月10日に開催し、映画「ミッドナイト・トラベラー」を上演しました。研修に参加した教職員は、地球上で起きている様々な紛争やアフガニスタンの現状などに心を動かされました。

同映画(2019年:アメリカ・カタール・カナダ・イギリス合作、ハッサン・ファリジ監督)は、アフガニスタンからヨーロッパまでの5,600kmを、安住の地を求めて旅をする避難家族が3台のスマホで自らの旅を撮影した前代未聞のドキュメンタリーで、2019年サンダンス映画祭ワールドシネマドキュメンタリー審査員特別賞ほか数多くの賞を受賞した作品です。



映画でアフガニスタンの現状を知る

## トイレがリニューアル!!

2023年3月に、穂積キャンパス1号館連絡棟(1~4階)のトイレが新しくなりました。

キャンパス内でも利用者の多い1号館トイレがリニューアルされ、スタイリッシュに生まれ変わりました。

皆さんが利用するトイレです。次の人が気持ちよく利用できるよう、汚さずに大切に利用しましょう。(トイレの神様より)



リニューアルされたトイレ(2階)